

さいたま市立病院

Saitama City Hospital

看護部のご案内

私たちは「出会い」と「生命の尊さ」を大切にし
こころをこめて看護を提供します



さいたま市



理念

- 患者さんを尊重し、信頼される病院を目指す。
- 科学的根拠に基づいた質の高い医療を提供する。
- 地域の基幹病院として各医療機関との連携に努める。

基本方針

- 患者さんの権利を尊重した医療を提供する。
- 急性期医療を中心に高度な医療を提供する。
- 救急、周産期母子、がん医療を積極的に推進する。
- 地域の病診連携を積極的に推進する。
- 高い技術と豊かな人間性を持つ医療人の育成に努める。
- 自治体病院として経営の健全化に努める。



病床数 ▶ 637 床

診療科 ▶ 内科・消化器内科・呼吸器内科・精神科・脳神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・消化器外科・血管外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・病理診断科・緩和ケア内科

さいたま市立病院は救急医療、周産期・小児医療、高度ながん医療、感染症治療において地域の中核的な役割を担っています。先進医療を可能とする手術室を整備し、救命救急センターの機能の充実、精神科身体合併症病棟、緩和ケア病棟も設置し、オールラウンドな急性期病院として地域に貢献しています。



救急医療

- 救命救急センター
初療室 3 床
救急病棟 20 床
- 救急外来

急性期医療

- 手術室の高度化
(ハイブリット手術室)
- 血管造影室
- ICU、HCU

地域がん診療連携拠点病院

- 放射線治療
- 化学療法室
- 緩和ケア病棟
- がん患者、家族に対する相談室やがんサロン

災害拠点病院

災害拠点病院

- 大規模災害発生時に初期救急医療を提供
- 災害派遣医療チーム (DMAT)

感染症指定医療機関

- 第二種感染症指定医療機関
- 結核指定医療機関

病院の 特徴

救急医療

地域がん診療 連携拠点病院

急性期医療

災害拠点病院

周産期医療

感染症指定 医療機関

周産期・小児医療

- 成育母子医療センター
(産科病棟、分娩室、NICU、GCU、新生児・産婦人科外来、小児病棟のワンフロア化)



看護部の理念

看護を必要とする全ての人々を対象に、科学的根拠に基づいた高度な看護実践を通して、患者さんの潜在的治癒力を最大限に引き出し、各人にとって最適な健康状態を生みだすことに努力する。



看護部基本方針

- 常に患者さんの立場に立ち、患者さんの権利を尊重し、患者さんの生活の質（Quality of Life）の向上を目指した看護サービスを提供する。
- 科学的根拠に裏打ちされた、高度な専門性と技術による看護実践を通して安全で質の高い医療提供に寄与する。
- 医療者に必要な倫理観・使命に基づき、主体的で自律的な行動ができる看護職員を育成する。
- 円滑なチーム医療を推進し、地域との連携をはかり、継続的な看護サービスを提供する。
- 臨床の場は常に教育の場であることを認識し、看護を学ぼうとする全ての人々により良い学習の場を提供する。
- さいたま市立病院看護師は、健康で豊かな人間性を持ち、常に品性に磨きをかけながら自己研鑽をする。

MESSAGE

看護部長 原 朋子



看護部の理念は「看護を必要とする全ての人々を対象に、科学的根拠に基づいた高度な看護実践を通し、患者の潜在的治癒力を最大限に引き出して、各人にとって最適な健康状態を生みだすことに努力すること」です。その理念に基づき私たちは、患者さん一人ひとりに思いを寄せて「その人らしく生きることを支える」看護ができるように考え、学び続けることが必要です。「その人らしさって何だろう」「できることがもっとあるのでは」と常に考え、看護を提供しています。

私たちは急性期の看護実践を通し、常に命と向き合う緊張感の中で仕事をしています。しかし、そのような中でも「出会い」と「^{いのち}生命の尊さ」を大切にしています。看護という職業は生涯学び続けることが必要です。看護部では、学ぶ力を尊重したキャリア開発を支援する教育環境を整えています。そして、臨床現場でのちょっとした気づきを大事にし、意見が出しあえる風土や前向きに取り組むことができる職場づくりを目指しています。また、多様な価値観に合わせた働き方や取り組みを行い、時代の変化を恐れずに、職員が健康で生き生きと働き続けられる職場環境を常に考えています。

看護部が大切にしていること

「やさしい看護」の実践

「やさしい看護」の実践には、専門職としての高度な知識と技術だけではなく、「患者さんの尊厳および権利を尊重すること」「患者さんに寄り添う思いやりの『こころ』を持つこと」が不可欠です。また、専門職としてのやさしさには、一般的なやさしさとは異なり、人の成長を促し、時にはやさしさの中に思いやりのある厳しさも必要です。

看護配置 ▶ 急性期一般入院料 1

看護方式 ▶ モジュール型継続受持ち看護

勤務体制 ▶

- 2 交替勤務
日勤 8:30～17:15 / 夜勤 16:30～9:30
- 3 交替勤務
深夜 0:30～9:15 / 日勤 8:30～17:15 / 準夜 16:30～1:15



救命救急センター



救急搬送されるクリティカル領域の患者さんのケアを行っています。ドクターカーを運用しており、プレホスピタルケアを行う、ドクターカーナースを育成しています。

手術室



予定手術だけではなく、24 時間緊急手術にも対応しています。患者さんが安全で安心して手術が受けられるよう、多職種で連携しチームで患者さんをサポートしています。

HCU



手術後の管理が必要な患者さんや、生命の危機的状況となり得る患者さんなどのケアを行っています。早期からリハビリテーションを行い、患者さんの日常生活動作の維持・向上を図っています。

成育母子医療センター



産科病棟、NICU・GCU、小児病棟、外来（産婦人科、新生児内科）で構成されています。地域の医療機関と連携しながら、母体搬送や新生児搬送の受け入れを行い、妊娠・出産から新生児期、小児期へと一貫した高度な医療を提供しています。

精神科身体合併症病棟



精神症状と身体症状の両方に対応できる治療体制を整えています。精神疾患を有しながら治療が必要な患者さんのため、医師や看護師だけでなく精神保健福祉士など多職種で安全で安心できる医療と看護を提供しています。

緩和ケア病棟



がんによる痛みをはじめとする身体症状、気持ちのつらさなどの様々な苦痛を和らげることを目的とした急性期の緩和ケア病棟です。症状緩和はもちろんのこと、患者さん・ご家族の思いを十分に聴き、揺れ動く気持ちに寄り添うことを大切にしています。

フロアマップ

敷地面積

48,789.18m²

建築面積

9,736.80m²

階数

病院本館 地上 10F
別館 3F
東館 3F

スロープ棟

病院本館

別館

東館

スロープ棟	病院本館	別館	東館
10F	機械室		
9F	一般病棟(緩和)、機械室、レストラン、屋上庭園		
8F	感染病棟、結核病棟、精神病棟、一般病棟		
7F	一般病棟、無菌室、開放病床		
6F	一般病棟		
5F	一般病棟(小児科)、周産期センター外来、NICU、GCU、分娩、一般病棟(産科)		
4F	透析、臨床工学部門、中央材料室、手術、HCU、ICU		
3F	管理、医局、講堂、外来、リハビリ、化学療法、売店	管理	シミュレーションラボ
2F	栄養管理、薬剤、外来、検体検査、生理検査	管理	スポーツ医学総合センター
1F	災害備蓄倉庫	放射線治療 / 核医学	救急ワークステーション

院内教育体制

学ぶ力を尊重し、一人ひとりの
キャリア開発を支援する教育体制

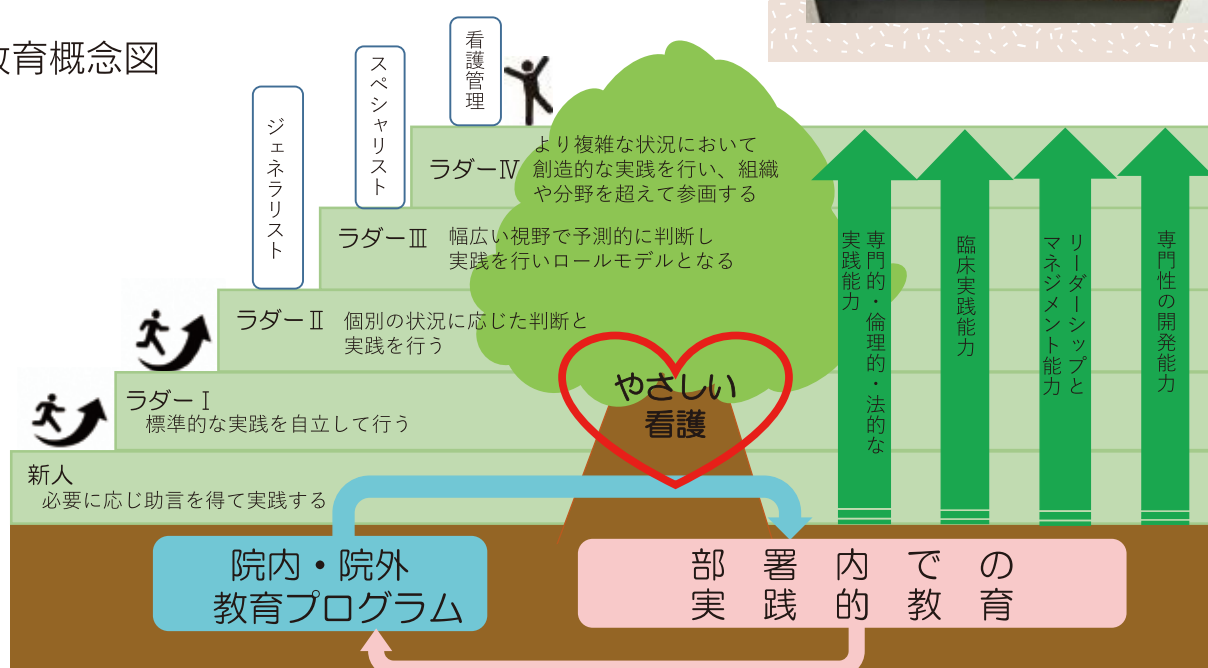
▶教育目的

専門職業人として看護の対象を適切にとらえ、質の高い看護を提供できる看護職員を育成する

▶教育目標

1. 科学的根拠に裏打ちされた看護実践力を養う
2. 看護サービスを充実するために必要なマネジメント能力を養う
3. 看護研究などの取り組みを通して論理的思考能力を養う
4. 豊かな感性を育み創造的なケアができる能力を養う
5. 主体的で自律的な行動がとれる看護職員を育成する

▶教育概念図



▶キャリア開発ラダーでステップアップ

キャリア開発ラダーとは、臨床実践に必要な能力（求められる能力）を段階的に表現したものであり、看護師個々が主体的にキャリア開発を目指す指標であるとともに、看護師の実践能力の評価基準に用いられます。当院のキャリア開発ラダーは、「看護師のクリニカルラダー」「助産師クリニカルラダー」「日本消化器内視鏡技師会クリニカルラダー」「日本手術看護学会手術看護師のクリニカルラダー」を使用し、それぞれ段階的にステップアップするための到達目標が設定されています。

▶院内教育プログラム

看護実践能力に必要な ①専門的・倫理的・法的な実践能力 ②臨床実践能力 ③リーダーシップとマネジメント能力 ④専門性の開発能力の4つの力を高めるために、毎年スタッフの教育ニーズを査定し企画しています。またキャリア開発ラダーレベルに応じたコースが受講できるようになっています。

▶教育施設の充実 シミュレーションラボ

医師や看護師が医療技術を効率的に習得できるシミュレーター等を整備した研修施設があります。



新人看護職員教育・支援体制

看護師1年目は基本的な看護実践能力を習得し、看護師としての基盤をつくるための大切な時期です。当院では個別の支援体制を整え、臨床実践に必要な能力が段階的に高められるような教育プログラムとなっています。「なりたい看護師」「目指している看護」を思い描いて学んでください。

▶ 支援体制

◇メンター・エルダー制

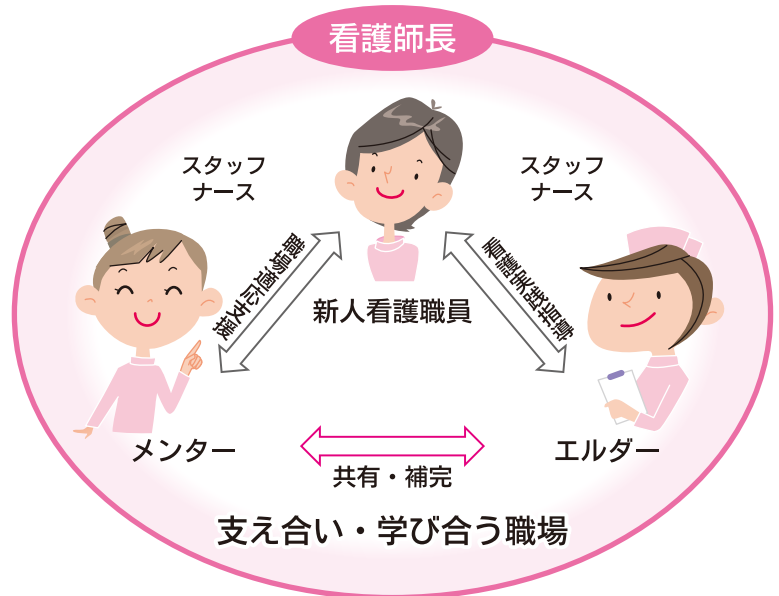
新人看護職員の職場適応を支援するメンターと看護実践能力向上を支援するエルダーと全てのスタッフが支援します。

◇メンタルヘルスケア

研修会
相談窓口の設置「フローレンスルーム」

◇新人の日

3連休のリフレッシュ休暇



▶ 新人看護職員研修制度 ニューフェイスクラス

新人看護職員は各部署に所属して、1年間の研修を通して学びます。当院の研修制度は「集合教育：ニューフェイスクラス」「部署教育：所属部署で業務を通して学ぶ」その他、院外研修などの学びの機会があります。

4月 ● オリエンテーション ● 食事援助技術 ● 感染予防技術 ● 安全管理 ● 排泄援助技術 ● 活動・休息援助技術 ● 創傷管理技術	5月 ● IV ナース I ● メンタルヘルス	6月 ☆ 新人の日 ● 静脈採血と検体の取り扱い	7月 ● 救命救急処置技術 ● フィジカルアセスメント
8月 ● 看護倫理	9月 ● メンタルヘルス	10月 ● IV ナース II	11月 ● 褥瘡予防対策 ● グリーフケア
12月 ● IV ナース III	1月	2月	3月 ● 新人看護職員修了式

年間を通してEラーニングを視聴できます



さらなるキャリアを目指して

- 認定看護師
- 専門看護師

看護の質の維持・向上に向けて、認定・専門看護師が、組織の中で横断的に活動しています。認定・専門看護師は、専門性を活かして看護を提供しています。

母性看護専門看護師



5Fフロアの育成母子医療センターにある産科病棟で母性看護専門看護師として働いています。周産期メンタルヘルスや虐待、母体救命を中心に、女性とその家族の生涯に寄り添えるよう努めています。また、院内の横断的活動だけでなく、埼玉県の周産期医療の向上のため、教育機関や助産師会等での講演もしております。今後も楽しく子育てができるサポートができたかと考えております。

クリティカルケア認定看護師



私は2018年に特定行為研修を修了しました。昨今、医師の働き方改革の推進やタスクシェア・シフトが求められる中、当院でも特定看護師の活用に向けて動き出しています。特定行為研修での臨床推論やフィジカルアセスメント、疾病学などの学びを活かして医師や多職種と協働し「治療」と「生活」の両面から患者さんを支えています。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師



脳卒中は発症から急性期・回復期・生活期（維持期）と長い経過を辿ります。様々な障害と共に療養生活を送る患者さんやご家族に対して、その人らしく生活を再構築していけるように活動しています。医師や看護師、リハビリテーション科スタッフをはじめ、多職種と協働しながら、今後もより良い活動を広げて行きたいと考えています。

小児救急看護認定看護師



小児救急看護は、救急に関連した看護はもちろん、医療的ケアや虐待予防など小児全般に関わる看護を領域としています。また、子どもとそのご家族が安心して生活できるよう、育児支援やホームケア指導、事故予防についても伝えていく役割を担っています。子どもたちが表す小さなSOSを的確に判断し、未来ある子どもたちの笑顔のために最善を尽くし活動しています。

感染管理認定看護師



感染管理室に所属し、専従の感染管理認定看護師として勤務しています。多職種で構成されたICT/ASTチームのメンバーと協働し、職員が適切に感染対策を実施できるよう支援しています。また、加算連携施設や保健所、医師会とも密に連携し、相談対応や訓練、情報共有を行うなど、地域医療の感染対策にも貢献できるよう日々取り組んでいます。

緩和ケア認定看護師



私は「最後の瞬間までその人らしく生きる」ことを支えたいという想いから、緩和ケア認定看護師を取得しました。現在は専従として組織横断的に活動をしています。多職種と協働し、患者さんの希望や価値観を尊重しながらその人らしく生活できるように、支援しています。また、ご家族もケアの対象として一緒に考えることを大切にしています。

なりたい自分を目指して

テクニカルスキルサポートナース

当院ではテクニカルスキルサポートナース（専門的な知識や技能を有する）としての登録制度があります。各部署からコンサルテーションの依頼を受け、臨床の看護の現場において専門的な看護を実践しています。

医療リンパドレナージセラピスト



リンパ浮腫は治療を受けてから数十年後に発症することもあります。リンパ浮腫に関する患者さんへの情報提供やセルフケア指導はとても重要と考え、パンフレットなどを用いて実践しています。また、リンパ浮腫外来でも月2回診療介助に携わっています。入院中から退院後も患者さんの生活に寄り添える看護を目指しています。

NST 専門療法士



「食べる」ことは生きるためには欠かせない行為であり、楽しみにもつながります。そして、栄養療法はすべての疾患・治療の基本となります。また、口から食事が摂取できる喜びを患者さんと共有し、食事摂取量の増加や栄養状態が改善した時は、とてもやりがいを感じます。食事の楽しみから闘病意欲へとつながるように取り組んでいます。

働き続けられる支援体制

当院では看護職員一人ひとりが、持てる力を十分に活かし、自分らしく働き続けられるように、多様な価値観やニーズを大切にして、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進しています。

健康支援

看護職員が健康で働き続けられるように、産業カウンセラー・心理相談員によるメンタルヘルス支援として相談窓口「フローレンスルーム」を設置しています。



育児支援

育 児 休 業：子どもが3歳になるまでの間、育児休業の取得が可能です。育児休業中は給与の支給はありませんが、育児休業手当金が一定期間支給されるほか、共済組合継続加入や掛金（保険料・年金）の免除があります。

復職後支援制度：育児をしながら働く職員のため、特別休暇（看護休暇・保育時間）・部分休業・育児短時間勤務などの制度があります。

院内保育施設

病院敷地内に「みどり保育室」があります。夜勤でも安心して預けることができ、仕事が続けられます。子どもの成長に合わせた保育で、季節の行事もあります。

対象年齢：0歳～6歳

定 員：40名

保育時間：7時30分～19時（基本保育）

15時30分～11時（夜間保育 月・木）



福利厚生

各種共済制度：契約保養所、レクリエーション施設の利用補助、健康保養施設の利用補助

職 員 互 助 会：結婚、出産、子どもの入学・卒業の祝い金、宿泊利用、永年勤続給付など各種給付金

看護職員寮

※女性専用

名 称：しらさぎ寮

部屋数：101部屋

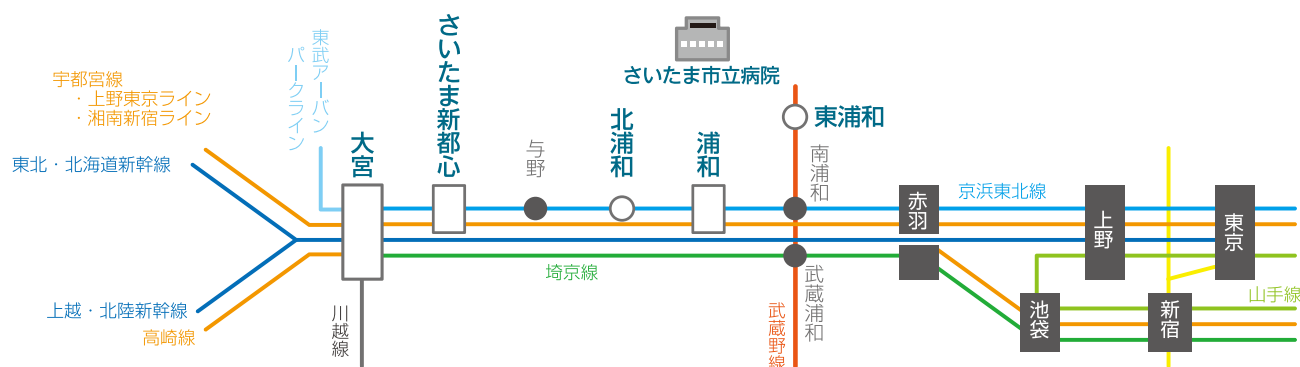
居 室：全室冷暖房完備の8.3畳個室
ユニットバス・トイレ

居室料：月額10,000円 *光熱水費は別途負担



ACCESS

北浦和	○ JR 京浜東北線 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約 15 分）
浦和	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線 東口 国際興業バス「南台」行「市立病院」下車（約 20 分） 西口 東武バス北浦和経由「さいたま市立病院」行（約 25 分）
東浦和	○ JR 武蔵野線 ○ JR 京浜東北線 国際興業バス「市立病院」行（約 20 分） 国際興業バス「馬場折返場」行で終点下車（約 15 分） 徒歩 5 分
さいたま新都心	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン） ○ JR 京浜東北線 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約 30 分）
大宮	○ JR 宇都宮線・高崎線（上野東京ライン・湘南新宿ライン） ○ JR 京浜東北線 ○ JR 埼京線 ○ JR 川越線 ○ 東武アーバンパークライン ○ 埼玉新都市交通 東口 東武バス「さいたま市立病院」行（約 40 分）



お問い合わせ

さいたま市緑区三室 2460 番地
さいたま市立病院
TEL 048-873-4111 (代)
FAX 048-873-5451



このパンフレットは1000部作成し、1部当たりの印刷経費は103円です。